

浅中しぐさ

浅草中学校の伝統を受け継ぎ伝えるための 「浅中しぐさ」九つの心

自分たちの行動を考え反省し、このすばらしい浅草中学校を、たいせつに考えることにより、良き伝統を先輩から受け継ぎ、そして、後輩達へのメッセージとしたい。
そして、明るく元気な学年をさらに向上させようと考えここに「浅中しぐさ」を決めた
平成21年度3年 - 19年度一学年時作成

一、人の話は、目と心と耳で聞く

「聞く」ことのたいせつさ、人は聞いて・考えて・行動するのが基本、色々な人の話はしっかり聞くことが必要。

一、心の編み目を細かくして

心の編み目の細かい人はいろいろな事をしっかり受け止めます。編み目の粗い人は受け止めなければいけないことを受け止めず、なかなか成長しません。

一、「ありがとう」その一言のあたたかさ

ありがとうと素直に言える心をもつこと、人と人との心のつながりをたいせつにしたい

一、あいさつは明るく素直に元気よく

あいさつは、人間同士の最初の出会い・普段の心の通じ合い等々・お互いの目を見てあいさつをすると明るい気持ちになれる、同時にその姿を見ている人も明るい気持ちになれる

一、始業前・後のあいさつは感謝の言葉

学校で一番たいせつな授業。その授業を教えてください先生や、同じ教室で学ぶ仲間にも、しっかりとしたあいさつをすることにより、充実した授業時間が成り立ちます、感謝の心を忘れないこと。

一、身だしなみ学力アップの第一歩

服装の乱れは心の乱れ、心の乱れは、学習面においても、大きく影響していく、きちんとした服装が、心も整え、前向きしてくれる。

一、友達は自分を支えるパートナー

中学生のたいせつな時期に、友達として励まし合ったり、自分を向上させるためにアドバイスをくれたりする仲間は、一生の宝物と言われます。自分たちが成長して大人になっても、永いつきあいがあると言われます。お互いに向上できると良いです。

一、心を込めた気遣いを

人が生きていく中・お互いが生活していく中で「思いやりの心」をたいせつにしていきたい。また、人に対すること以外でも、教室の整理整頓やゴミ等が落ちていたら拾う等々学校全体の事を考えられるような気遣いをしてほしい。

一、悪いこと勇気をもって注意する

人には弱さや醜いところがあります。その心をお互いが、注意しあって、向上していくそんな学年になってほしい。

